

むしろこれから鹿島・太良プロジェクト

鹿島・太良エリアには、多良岳、有明海という恵まれた自然、竹崎かき、竹崎かに、佐賀海苔などの食材、海外からも評価の高い伝統的な酒造り文化など、この地域ならではの本物の地域資源が存在している。佐賀県が、鹿島市・太良町と連携し、この本物の地域資源を磨き上げ、ゆっくり、じっくりと味わうスロートーリズムを楽しめるエリアを創っていくためのプロジェクト。

「沿線えきやど構想」について

むしろこれから鹿島・太良プロジェクト（肥前鹿島駅整備事業を含む）では、肥前鹿島駅にてチェックインし、ローカル鉄道（長崎本線）を使うなどして、沿線各地の宿に宿泊しながら鹿島・太良の本物の地域資源をゆっくり、じっくり味わう旅（スロートーリズム）の促進を図ります。また、その仕掛けとして「沿線えきやど構想」の具現化を行います。

なお、沿線えきやど構想の概要は以下のとおりです。

■沿線えきやど構想が目指す姿（つくりたい鹿島・太良エリアの姿、旅のイメージ）

“ローカル鉄道 × 本物の地域資源 × 宿” をつかって、
スロートーリズムを存分に楽しむことができるエリアをつくる
【ハブ＝沿線えきやど】



参考（沿線えきやど構想等概要）

■ 沿線えきやど構想の定義

「ローカル鉄道×本物の地域資源×宿」を使って、本物の地域資源をゆっくり、じっくり巡ってもらい、何度でも訪れてもらうため、鹿島・太良一体で取り組む仕掛けであり かつ 地域ブランディング

■ 沿線えきやどの定義

沿線えきやど構想を構成する宿（周遊促進（公共・地域）連動）

沿線えきやどの宿の形態は、特定のものに限定していません。様々な形態の宿が地域一体に存在するようなエリアづくりを促します。さらに、既存の宿とも連携し、地域全体で沿線えきやどのネットワーク化、ブランディングを図ります。（宿は民設民営を基本とする）

また、スロートーリズムのフロントである肥前鹿島駅エリアとも連携。鹿島・太良地域一体を「宿」と見立てて、肥前鹿島駅エリア（フロント）にチェックインして、沿線えきやど（お部屋）に泊まり、各お部屋を拠点に鹿島・太良地域を周遊し、様々な体験（アクティビティ）を楽しむような、運営を目指します。

■ 沿線えきやど構想の目的

- ・ 鹿島・太良一带に存在する“本物の地域資源”を“観光資源化”し、エリアの価値や観光の質を向上させること。（点から面へ、リピーター増）
- ・ 「沿線えきやど」としてブランディングした宿が増えることで、鹿島・太良へ来ていただくきっかけを増やすとともに、滞在時間を増加させること。
- ・ 駅を拠点とした、鹿島・太良スロートーリズムの仕掛けをつくること。

肥前鹿島駅エリア整備の概要、肥前鹿島駅エリアと鹿島・太良沿線えきやどの連動

（県南西部の交通結節点 肥前鹿島駅エリア）

肥前鹿島駅は、博多 - 肥前鹿島駅を約1時間で結ぶ特急列車の終着駅であり、嬉野や武雄、地域内を結ぶバスセンターとも隣接しており、県南西部の交通結節点となっています。

参考（沿線えきやど構想等概要）



※この表は令和4年6月現在のものであり、現在は運行状況と一致しないものもあります。

（肥前鹿島駅エリアはスロートーリズムの拠点へ）

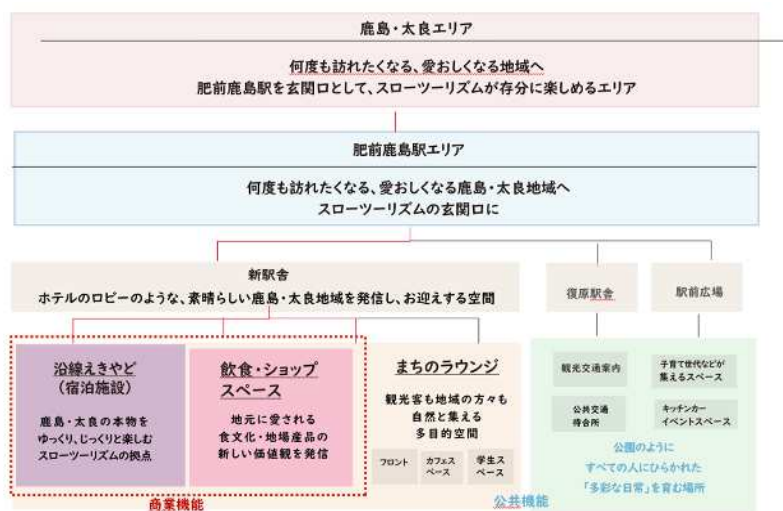
肥前鹿島駅舎とその周辺からなる肥前鹿島駅エリアは、交通拠点のみならず、スロートーリズム玄関口として生まれ変わります。（整備主体：佐賀県、鹿島市）



参考（沿線えきやど構想等概要）

（肥前鹿島駅エリアは、鹿島・太良地域を訪れた人を迎える場、ここから鹿島・太良地域を周遊したくなる拠点へ）

肥前鹿島駅エリアはスローツーリズムの拠点として、新駅舎内に「えきやど（小規模宿）」と「飲食・ショップスペース」（商業機能）を設けます。これらは、宿、飲食・物販のそのものの機能だけでなく、鹿島・太良地域のひと、コト、モノを繋ぐ、まちの案内機能にもなります。これらの機能は民間事業者が運営することとしており、令和7年1月に公募により下記の事業者に決定しました。新駅舎は、これらの機能を核として、駅舎全体が、鹿島・太良地域を訪れた人をもてなすホテルのロビーのような場となります。



※商業機能運営事業者

（株）イノベーションパートナーズ・（株）GOTENリゾート・（株）日比谷花壇

〔新駅舎外観〕

多彩で艶やかな鹿島錦がたなびくような、大屋根が織りあげる玄関口となるファサード



・鹿島・太良のシンボルとなるような多良岳産材を全面に使った鹿島錦をイメージした網代天井

参考（沿線えきやど構想等概要）

〔新駅舎エントランス（改札）〕

ラウンジと軒下広場が隣接することで、来訪者と日常利用者が混在する空間



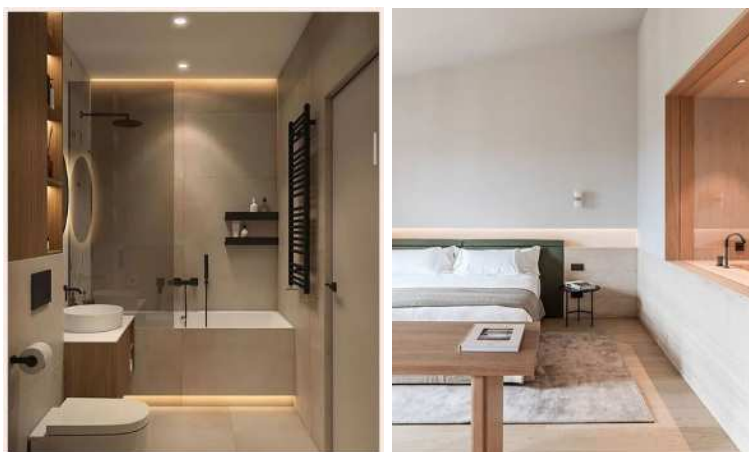
・改札口とラウンジが大屋根で一体的につながる、旅行者も地域の人も気軽に立ち寄りやすい明るく開放的なエントランス空間

〔新駅舎ラウンジ（飲食・物販・公共空間）〕



・眺望を確保した客席を配置するとともに、旅への高揚感を演出

〔新駅舎宿泊施設イメージ〕 ※内装デザインは今後決定



・ゆっくり、じっくりと贅沢な鹿島・太良を楽しみ、滞在していただくための、質の高い、ゆったりとした客室

（肥前鹿島駅エリアと沿線えきやどの連動）

前述したとおり、スローツーリズムのフロントである肥前鹿島駅エリアと沿線えきやどは、鹿島・太良地域全体でスローツーリズム促進を目指して連携します。

鹿島・太良地域一体を「宿」と見立てて、肥前鹿島駅エリア（フロント）にチェックインして、沿線えきやど（お部屋）にとまる、お部屋から鹿島・太良地域の様々な体験（アクティビティ）を楽しむような運営を目指します。具体的な連携方法はこの業務の中で検討し、具現化することとします。

**鹿島・太良のまち一体を宿と見立て
ゆっくり、じっくり旅を楽しむ仕掛け**

